

1年 森下 智波

1年生必修の初年次教育では、一つのテーマを題材にしてKJ法、ディベートやプレゼンテーションの練習を行っています。

今回の記事にしたディベートは、クラス対抗で実施しました。対戦前にクラス全員でテーマに関するメリットやデメリットを考え、論戦に勝てるようみんなで協力してしっかりと根拠を固めました。そのため、クラス対抗戦の時には説得力のある「立案」ができました。「反対尋問」では、相手クラスの論理の隙をついた鋭い質問もできました。相手クラスも、準備万端でなかなか論理を崩すことはできませんでした。白熱したとてもいいディベートができたと思います。ディベートを通して、資料の収集や説得力のある論理展開のあり方を身につける以上に、クラスのみならず一緒に考え、団結力が強くなったのが何よりもよかったと思います。

(授業担当 森宏樹先生、岩佐和典先生)



研究紹介

学生インタビュー

1年生 藤田麻帆

山田美穂先生は、フラダンスを通じた心理的援助の研究と実践を行っています。先生自身が、仕事で疲れてストレスが溜まっているとき、趣味としてフラダンスを始めて、言葉を使わなくてもフラダンスで癒やされていることに気づき、研究を始めたそうです。7月、イタリアミラノ市で行われたヨーロッパ心理学会で「どうして日本人女性は古典フラに癒やされるのか」というテーマについて発表しました。様々な国の研究者と話すことで、たくさんの刺激を受けたそうです。



ヨーロッパ心理学会 (2015, 7・イタリア・ミラノ市) で発表する山田美穂先生



Tea time

Trust Each other And Take Information on Mutual Enrichment!

新入生研修旅行報告

(2015/04/17-18) (於 京都市内)

新入生研修旅行に参加して
1年 西山 佳花

1日目は伏見稲荷大社、寺田屋・妙心寺に行きました。妙心寺では座禅を組み、貴重な体験ができました。夜のレクリエーションでは他己紹介を行い、学科全体の仲を深めることができました。2日目はクラス毎に計画を立て京都市内を観光しました。

研修旅行によって学科のみならず交流でき、親睦をはかることができました。



学 科 長 堀 幸一

あなたは、自分が大学へ入学してきた目的を明確に自覚できますか。4年間は、「なんとなく」という思考停止状態で、なりゆきに身を任せてしまうと、あっという間に過ぎ去り、何も残らないこともあるのです。

もしも入学目的自体が「なんとなく」だったという人は、何のために生きるのか、本気で考えぬいて、「なんとなく」状態を抜け出してください。

皆さんの人生にとって、この大学時代が真に意味を持つことを期待しています。



編集後記

今年も、教育心理学科 学科報「teatime」の発行を予定通り実施することができました。記事作成・写真撮影などに関わってくださった皆さん、お忙しい中インタビューを受けて下さった先生方、ご協力ありがとうございました。教育心理学科の1年間の様子が伝わると幸いです。 担当S

ありがとう!



平成27年度 教育心理学科

行事報告

- 4月1日 入学式
4月17~18日 研修旅行(京都)
5月9日 新入生歓迎会
5月~6月 前期実習(養護実習・特別支援教育実習・教育実習(保健))
6月6日 学力向上模試/キャリア講演会
6月21日 オープンキャンパス
6月29日 教育実習(保健)報告会(前期)
7月1日 特別支援教育実習報告会(前期)
7月18~19日 オープンキャンパス
7月29日 養護実習報告会(前期)
8月7日 就実大学教育心理学会講演会
8月8日 球技大会
8月23日 オープンキャンパス
10月~11月 後期実習(養護実習・特別支援教育実習・教育実習(保健)・教育実習(基礎免許))
10月8日 教育実習(保健)報告会(後期1)
10月24~25日 なでしこ祭/学科企画(ハートカフェ、キッズワンダーランド)
10月28日 養護実習報告会(後期)
11月4日 教員採用試験報告会(養護)
11月25日 学力向上模試
12月4日 教員採用試験報告会(特別支援)
12月10日 教育実習(保健)報告会(後期2)
12月18日 特別支援教育実習報告会(後期)
2月10日 卒論報告会/球技大会
2月~3月 看護学臨床実習
3月12日 オープンキャンパス

新任の先生にインタビューしました!

一年 西尾佳奈子

石原みちる先生は今年の4月に教育心理学科に着任されました。趣味は自然に触れること。学生からは「やさしく親しみやすい」と人気の先生です。臨床心理学を専門分野とされており、スクールカウンセラーによる教師へのコンサルテーションを研究されています。

先生は、これまで小学校や中学校で17年間スクールカウンセラーを続けてこられたそうです。その経験の中から、学校における様々な出来事をより深く見つめ直したいと考えられたことが、研究に関わるきっかけとなったそうです。

石原先生よりひと言

今年の4月から、教育心理学科に来ましたが、教育心理学科の学生の皆さんの前向きな姿勢が素晴らしいと思っています。ボランティアやいろいろな活動の提案にすぐ反応してくれ、その経験を学習内容と結びつけて学ぶ姿は、とても頼もしいと感じています。



石原みちる先生







